



2025年6月3日

各位

会社名株式会社 ispace
代表者名 代表取締役 CEO 袴田 武史
(コード番号：9348 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 CFO 野崎 順平
(TEL.03-6277-6451)

欧州宇宙機関 (ESA) との契約に関するお知らせ

当社は、当社欧州法人である ispace EUROPE S.A. (以下「ispace EU」) が欧州宇宙機関 (European Space Agency、以下「ESA」) と締結している The Mission for Advanced Geophysics and Polar Ice Exploration (日本語訳：先端地球物理学および極域氷探査ミッション、以下「MAGPIE」) に関して、現行契約の役務の内容および契約金額を拡充する改訂をすることを6月2日付けで取締役会にて決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 契約締結予定先

(1) 名称	European Space Agency	
(2) 所在地	8-10 rue Mario Nikis CS 45741 75738 Paris Cedex 15, France	
(3) 代表者の役職・氏名	Josef Aschbacher, ESA Director General	
(4) 事業内容	欧州における宇宙活動を促進・調整・実施するために設立された政府間組織	
(5) 設立年	1975年	
(6) 上場会社と当該者との間の関係	資本関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係	MAGPIE の概念設計および実現可能性を分析するプリフェーズ A 契約を本改訂に先立ち締結
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません

※ESA は政府機関であるため、資本金、大株主及び持株比率、最近3年間の財政状態及び経営成績については開示しておりません。

2. MAGPIE および当社の役割

ispace EU は ESA と連携し、月極域における揮発性物質の探査および水氷の存在確認を目的とした月面探査ミッション「MAGPIE」の実現可能性、定義・設計、ミッションを実行するための全体的な枠組みの検討を行います。

ESA は、高度な技術と長期間を要する大規模な開発契約において、プロジェクトのフェーズに応じた段階的な契約形態を適用しています（※1）。ispace EU と ESA においても、2024 年 12 月 12 日に MAGPIE の概念設計および実現可能性を分析する段階であるプリフェーズ A に係る契約を締結しておりましたが、本ミッションの進捗に伴いフェーズ 1 への移行が決定されたことから、本契約を改訂することとなりました。フェーズ 1 に係る本契約で ispace EU は、ペイロードの技術成熟、接続方法の開発、試作機の製造など、ミッション構想の具体化を主導します。

MAGPIE は、ispace EU をはじめとする複数の機関による共同体で構成されており、ispace EU が主導的な役割を担っています：ミュンヘン工科大学（ドイツ）、オスロ大学 宇宙センサー・システムセンター（ノルウェー）、KP Labs（ポーランド）、チェコ工科大学 実験応用物理学研究所（チェコ共和国）、及びオープン・ユニバーシティ（イギリス）。

（※1）出典：ESA ホームページ

https://www.esa.int/About_Us/Business_with_ESA/How_to_do/ESA_contracts_types_monitoring_and_intellectual_property_rights

3. 契約の概要及び日程

(1) 契約の概要	① プリフェーズ A: ミッションの概念設計および実現可能性を分析する段階 ② フェーズ 1: ミッション構想の具体化を行う段階
(2) 契約金額	約 2,695,000 ユーロ（約 437 百万円） ※プリフェーズ A 契約およびフェーズ 1 契約を含む
(3) 取締役会決議日	2025 年 6 月 2 日
(4) 契約締結日	2025 年 6 月 2 日

4. 業績への影響について

本件は 2026 年 3 月期通期連結業績予想に織り込み済みであり、業績予想に与える影響は軽微であると判断しております。なお、今後の業績に重大な影響を与えることが明らかになった場合には、速やかに開示いたします。

以上